

重症心身障がい者の骨折リスク評価に、 腰椎大腿骨DXA測定

骨粗鬆症の診断における骨量測定は躯幹骨を測定するDXAが
ゴールドスタンダードとされています。

ポイント 1

測定時間は **腰椎20秒・大腿骨10秒** (高速モード使用時)

高出力・検出器数増による高画質化・高速スキャンを実現しました。

マルチチャンネルディテクター

512素子の検出器を採用。高精細な画像を得ることが可能です。
数値を算出する骨密度測定において高精細な画像は重要です。

ワンパススキャン

富士独自の広角ファンビーム方式を採用。
ビームの歪みを抑え、より信頼性の高い骨密度測定値を提供します。
体軸横断方向への一軸スキャンが可能です。



ポイント 2

優れた設置性

ALPHYS LF はX線撮影装置を組み合わせ、使用可能です。
専用の部屋を設ける必要がありません。



ポイント 3

簡単なポジショニング

ポジショニングに「ガイドライン方式」を採用しました。
検査になれてない方でも簡単に位置合わせ可能です。



上前腸骨稜（腸骨稜）をガイドライン表示灯（青色点灯）に
合わせ、上部カバー側面の測定エリア中心線に体軸を合わせます



◆ALPHYSは、富士フイルムヘルスケア株式会社の登録商標です。◆仕様及び外観は予告なく変更されることがございます。◆装置を正しく使用するために必ず「取扱説明書」「電子化された添付文書」をお読みください。
◆構成品の医療機器承認番号、医療機器認証番号については、個別製品仕様書を参照願います。◆本医療機器の販売・貸与には販売業・貸与業の許可が必要です。
◆ALPHYS LFは、特定保守管理医療機器、設置管理医療機器です。◆本製品を常に安全で最適な環境でお使いいただくため、ハードウェア及びソフトウェアの保守契約へのご加入をお願い致します。

